

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウエーブ

*Linking
your
dreams*

MARCH 2023

90

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

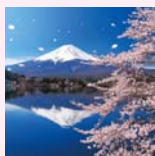
リンテックの洋紙事業

第129期
(2023年3月期)
第3四半期
決算情報

証券コード: 7966

LINE TEC WAVE

MARCH 2023 90



かわぐちこ
河口湖 (山梨県)
富士山麓の北に位置する富士五湖
の中で2番目に大きな湖。波が穏や
かな日は湖面に逆さ富士が現れ、春
には満開の桜と富士山という日本を
象徴するような景色が眺められる。

目次

- 2 連結業績推移
- 3 株主・投資家の皆様へ
代表取締役社長 服部 真
社長執行役員
- 4 スペシャルレポート
リンテックの洋紙事業
- 8 トピックス
- 9 2022年度 新聞広告シリーズ
- 10 決算情報
- 12 セグメント情報
- 15 株式情報

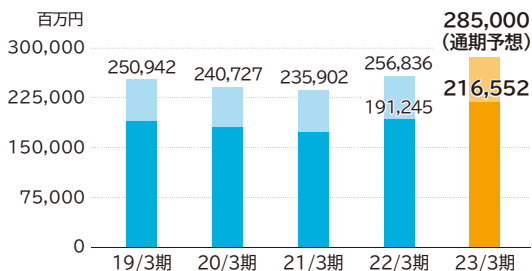
※当第1四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る連結財政状態の数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(免責事項)

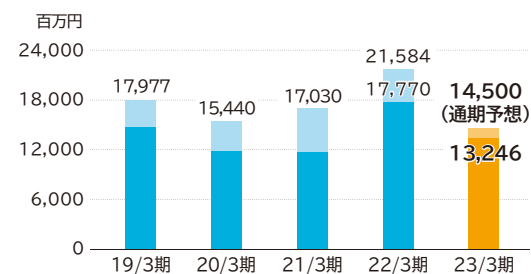
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

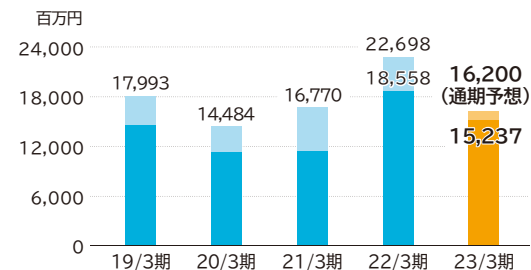
売上高



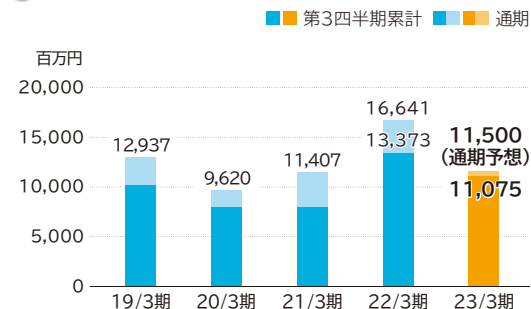
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



株主・投資家の皆様へ

▶2023年3月期第3四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

216,552百万円 (13.2%増)

営業利益

13,246百万円 (25.5%減)

経常利益

15,237百万円 (17.9%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

11,075百万円 (17.2%減)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2023年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、米国グループ会社での買収効果や円安の影響などによって売上高は大幅に増加した一方、利益面ではパルプをはじめとする原燃料価格の大幅な上昇を受け、徹底的なコスト削減や価格改定に取り組んだものの、上昇分の全てをカバーするには至らず、上記のとおり増収減益となりました。

通期連結業績につきましては、スマート



はっとり まこと
代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

フォンやパソコンなどの市場低迷や在庫調整の影響を受けることで受注が大幅に減少し、生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加するほか、さらなる原燃料価格の上昇や米国景気の後退による子会社の販売数量減少などが予想されることから、昨年11月発表の業績予想を下記のとおり修正いたしました。中期経営計画の最終年度となる来期に向けて、引き続きコスト削減や価格改定などに取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

	2023年3月期通期連結業績予想			2022年3月期
	当初予想 (2022年5月発表)	前回修正予想 (2022年11月発表)	今回修正予想 (2023年2月発表)	実績
売上高	2,850億円 ▶	2,920億円 ▶	2,850億円	2,568億36百万円
営業利益	215億円 ▶	155億円 ▶	145億円	215億84百万円
経常利益	215億円 ▶	185億円 ▶	162億円	226億98百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	155億円 ▶	135億円 ▶	115億円	166億41百万円

リンテックの洋紙事業

当社グループでは粘着製品や剥離紙・剥離フィルムのほか、独自の抄紙技術を生かしてカラー封筒用紙や色画用紙、工業用特殊機能紙などの「特殊紙」と呼ばれる付加価値の高い紙製品の開発・製造・販売も行っていきます。今号では特殊紙製品を取り扱うリンテックの洋紙事業の特徴や最新の動向などについてご紹介します。



リンテックの抄紙技術と特殊紙製品

当社では着色・混抄・含浸・表面加工といった抄紙技術を生かすことで、さまざまな色合いや風合い、機能性を付与した多種多様な特殊紙を製造・販売しています。大手製紙会社のように一般紙を大量生産するのではなく、特別仕様の設備で

多品種・少量生産に対応できるのが当社の強み・特徴で、国内トップシェアを誇るカラー封筒用紙や色画用紙をはじめ、独特な風合いを持ったファンシーペーパー、食品の包装に使われる耐油耐水紙など、数多くの製品をラインアップしています。

四つの抄紙技術を駆使し、幅広い市場に特殊紙を展開

① 着色技術

木材パルプに染料や顔料などを配合し、着色することによって、安定した品質で色紙をつくる技術

② 混抄技術

非木材パルプ、化学繊維、企業から出た廃棄物などを配合し、さまざまな意匠性を持った紙をつくる技術

③ 含浸技術

薬品や樹脂を紙の内部まで均一に浸透させることで、耐油・無塵・難燃性などを付与する技術

④ 表面加工技術

表面に薬品を塗工したり、表面をプレスしたりすることで、紙の表面を加工する技術



封筒



文具



書籍



食品



工業

身の回りで活躍しているリンテック製品

皆様に身近なところで実際に使用されている特殊紙の採用事例をご紹介します。

Case 1 カラークラフト紙

封筒用紙や包装用紙など幅広い用途で使用されるカラークラフト紙。独自の着色技術によって多彩な色をつくることのできるほか、隠蔽性や撥水性といったさまざまな機能を付与することも可能で、商品イメージや企業ブランドの向上にも貢献します。



カステラの老舗「文明堂」の紺色の包装紙にも採用されています

※ご協力：株式会社文明堂東京

Case 2 耐洗紙

クリーニングタグなどに使用される洗っても破れにくい紙。製造時に特殊な処理を施すことで、水にぬれても紙の中の繊維同士のつながりが維持され、破れにくくなっています。耐薬品性にも優れているので洗剤による色落ちで衣類を汚す心配がありません。



タグはクリーニング前に取り付けられるため、高い耐水性が求められます

※ご協力：株式会社共生社、株式会社石井文泉堂

▶ 特殊紙製品の特設ウェブサイト

当社では特殊紙を広く訴求し、拡販につなげていくため、特設ウェブサイトを開設しています。紙をお探しの事業者やデザイナーの方などが目的に合う製品をすぐに見つけられるよう、紙の用途や特徴から製品を検索することができるほか、紙工作のつくり方や特殊機能紙の実験動画といったコンテンツも掲載。一般の方も楽しめるサイトになっていますので、ご興味のある方はぜひ御覧ください。



随時内容の充実を図っている特設ウェブサイト

スマートフォンなどで右記の二次元コードを読み取ると、特設ウェブサイト簡単にアクセスできます。

www.specialty-papers.com



環境配慮ニーズを追い風に積極提案

昨今の環境配慮意識の高まりから、食品包装資材や文具、日用品などさまざまな用途で脱プラスチック・減プラスチック需要が拡大してきています。当社では耐油性や耐水性、透明性などにおいてプラスチックやフィルムに近い性能・機能を備えた特殊紙を各種開発し、プラスチック代替製品として提案を強化しています。

また特殊紙の原材料についても、適切に管理された森林の木材を使用した森林認証パルプの採用や、非木材原料の混抄、さらには薬品の使用量削減に寄与する製造プロセス・設備の導入などを推進。製造時のエネルギー効率の改善も含め、幅広い視点から環境に配慮した製品の提供に努めています。



弁当容器などに使用できる厚物の耐油耐水紙



安全性や口当りに配慮した紙ストロー用原紙



中身が透けて見える半透明紙を利用した紙製ファイル

PICK UP

コアマモを使った混抄紙を開発

混抄紙とは茶殻や小豆の皮といった本来であれば廃棄される非木材原料を木材パルプに混ぜ合わせて抄いた紙です。当社では新たな原料として、海藻のコアマモに着目。全国に分布し、CO₂の吸収効果が認められているコアマモですが、アサリの稚貝保護や漁業者の航路確保などを目的に間引き・廃棄されることがあります。当社ではこのコアマモを利用した混抄紙を開発し、廃棄物の削減と“海の脱炭素”への貢献を目指しています。

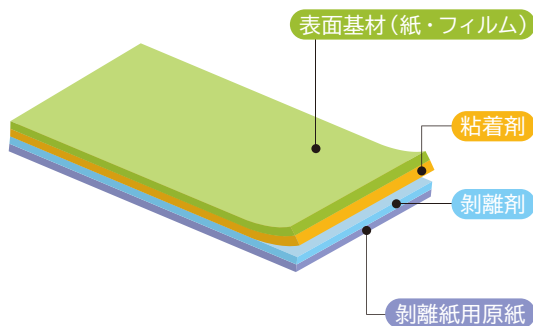


独特の風合いが特徴のコアマモ混抄紙

当社事業を下支えする抄紙技術

当社の抄紙技術は、基盤事業であるシール・ラベル用粘着製品などを構成する表面基材や剥離紙の製造にも生かされており、リンテックの強みの一つである粘着製品の一貫生産を実現しています。これがコストや品質、性能面における大きな優位性をもたらしており、剥離紙などを展開する加工材事業も含め、当社の事業を幅広く下支えしています。

シール・ラベル用粘着製品の基本構成



INTERVIEW

洋紙事業部門長に現在の事業環境や今後の展望などについて聞きました。

現在はペーパーレス化の進展や長引くコロナ禍による市況回復の遅れに加え、パルプをはじめとする原燃料価格や輸送費の高騰によって非常に厳しい事業環境にあります。それに対し、当社としては今日に至るまであらゆる面で原価低減に取り組んできましたが、自助努力だけで乗り越えることは困難であり、お客様のご理解を頂きながら製品の価格改定を進めています。

このような状況にあります。環境配慮ニーズなどの拡大を受けて「紙」という素材には大きな可能性を感じています。中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」で注力テーマとして掲げている脱プラスチックやフードロスに対応した新製品、生分解性ヒートシール紙などの開発・提案に注力し、持続可能な社会の実現と当社グループの成長に貢献していきたいと考えています。



執行役員
事業統括本部 洋紙事業部門長
あおき さとし
青木 智